

学年をスキップするのは、どういうこと??

今回、日本から見た欧米の不思議について書きたいと思います。

皆さん、学生の時代、自分より1、2歳ぐらい離れた年下のクラスメートがいましたか？ おそろくないと思います。

しかし、アメリカでは、それはかなり普通のことです。歳の違うクラスメートがいたりします。なぜかという、学年をスキップする飛び級制度があるからです。

飛び級制度には、1学年などを飛び越して上の学年などに進学するものと、学年だけじゃなくて、それぞれの授業を飛び越すものがあります。

さて、じゃあいったいどうやって飛び級をするのでしょうか。

まず、多くの場合には、親からの申し出により、園長や校長との面談をすることが必要です。面談では、何で次の学年に移さたいのかという利点と、欠点もちゃんと考慮してきたのかなど色々話し合います。面談を経て、もし、園長や校長の許可がもらえたら、次は子どもが試験に挑戦する必要があります。この試験は学校などにより違いますが、一般的には2種類のテストがあります。まず、子供が学年をスキップするのなら、その学年のすべての科目の内容に関して入学試験みたいなテストを受けます。授業だけをスキップするのであればその授業の内容についてのテストを受けます。この授業の飛び級については、テストの内容が難しく、点数によって移るレベルが決まります。言うまでもありませんが、不合格の場合は、もちろん飛び級はできず、また、一度不合格した場合は、再度の試験は受けられません。

飛び級制度については、なぜ飛び級するのか、子どもにとってどんなメリットがあるのか、子どもに友達が出来ののかなど多くの議論がありますが、このような問いには「正しい答え」がないと私は思います。それは、良いか悪いか両側の立場、どちらの意見も理解できるからあり、結局のところはそれぞれの家族、個人の問題であり、それぞれが決めた道は尊重されるべきだと思うからです。

もし、日本に飛び級制度があったら、皆さんは飛び級する・しないどの選択をしますか？

国が違ったり、文化が違うことにより、色々な面で制度が異なる。とても不思議です。

What exactly is "Skipping a Grade?"

This month, I want to talk about something that might seem a little strange to a Japanese person looking at Western culture.

If you went to school in Japan, did you have a classmate who was maybe 1 or 2 years older than you? My guess is probably not.

This, however, is actually pretty common in America. This is because we have a system that allows students to skip grade levels!

Under certain circumstances, students can skip ahead full grade levels (from 1st to 2nd grade of elementary school for example) or simply skip ahead to a higher level of a particular class (an 8 year old could potentially take 4th grade level math).

Now then, how exactly does one go about skipping a grade?

In many cases, the first thing that happens is that the parents of the child in question will set up a meeting to consult with the head of the school (principal, headmaster etc.) At the meeting, all parties will discuss not just the potential merits of the child skipping a grade, but also make sure that the parents have considered the negative side to skipping ahead as well. Next, if the parents receive permission from the school, the child will be challenged with a test. Generally, there are two kinds of tests. If a student wants to skip a whole grade level, then a test regarding the material for that grade level will be administered. You can think of this kind of like an entrance examination in Japan. On the other hand, if you wish to skip ahead to a higher level of a particular class, you will take an exam just on the material of that class. The test will incorporate both easy and difficult questions, and the student's placement will be determined based on how they score on the test. In some cases, verbal interview-like tests will be administered as well.

Of course, it goes without being said that failing the test will result in the student not being able to skip ahead.

There are a lot of debates and arguments surrounding the issue of skipping ahead. What is the advantage for the child? Are there more advantages than disadvantages? Will the child be able to make friends? Personally, I don't think that there is a "right answer" to any of these questions. Of course you can look at studies and objective data, but in the end it is a personal decision that must be made at home.

Here's something to think about- What if it were possible to skip ahead in Japan? Would you want to do it? How would you make the decision? Different countries are, well, different! Sometimes these differences can even seem a little strange. But it's the strangeness that makes it all interesting!

ハイサイ！こちら市長室！

【11月8日(日)】

このコラムをお読みの皆さん、あなたはむし歯がありますか？あなたのお子さんはいかがですか？

平成26年度の調査では、浦添市1歳6ヶ月児健診でむし歯のある子は全体の3.0%でしたが、3歳児健診になると30.5%、100人中30人がむし歯持ちとなり、たったの1年半でなんと10倍にも増加しているのです！実は浦添市だけではなく沖縄県全体としてもむし歯のある子どもの割合が高いのです。例えば、3歳児のむし歯有病率は全国平均値が17.9%であり、国が定めた目標値は15%ですから、沖縄県は3歳児100人中にむし歯のある子どもを15人以下にすることが求められています。

とが、大人になってからの健康にも大きく影響します。そこで、浦添市では今年度から2歳児歯科健診事業を行っています。子どもたちの健康を第一に考え自己負担なしの無料となっておりますので、2歳のお子さんをお持ちの保護者の方は、是非ご利用ください。私には忘れられない思い出があります。小学校低学年の頃、担任の先生が私の歯がとても綺麗だとクラス全員の前に立たせて褒めてくれたのです。それ以来、調子に乗って私は真面目に歯磨きを続け、今でもむし歯はありません。さらに歯医者さんが大好きになり、お掃除＆チェックのために半年に一度は必ず歯医者さんへ通っています。これも小学生の頃に褒めてくれた先生のお陰だと感謝しています。みなさん、子ども達を褒めてあげてください。

問い合わせ
秘書課
876-11234
(内線2563)

市長とゆんたくランチのお知らせ

日時:11月17日(火)12時～13時
場所:市役所9階展望ロビー
※弁当と飲み物は各自でご準備ください。



問い合わせ
国際交流課
(内線2614)

【秋のデンタルフェア in 浦添】
日時:11月8日(日) 10時～14時
場所:その他詳細は、南部地区歯科医師会ホームページ
<http://hanshi-oki.org/>
をご覧ください。

いくための美容室やエステの感覚で歯科受診することをお勧めいたします。浦添市民が健康な歯で歯つば(ハッピー)になりますように！



浦添市長 松本哲治

文化課発信 うあむー ありんくりん 第8回

～浦添産品だった『マチナト石灰岩』～

浦添産品といえば、うらそえ織や島桑を使ったお菓子などがありますが、かつては『マチナト石灰岩』の石材が浦添の特産品の一つでした。

『マチナト』は「牧港」のことで、『マチナト石灰岩』は牧港周辺に分布する石灰岩の一種です。この石は、沖縄では「栗石」などと呼ばれていました。

この石の特徴は、小さな穴がボコボコ空いていることで、石灰岩の中では切り出しやすく、加工しやすいことから、家の柱や石垣に使う石材として人気があったようです。

「なぜ浦添の特産品なの？」と思われるかもしれませんが、この「栗石」はどこからでも採れるわけではなく、沖縄本島では浦添の牧港から港川一帯を含め特定の地域でしか採れないそうです。

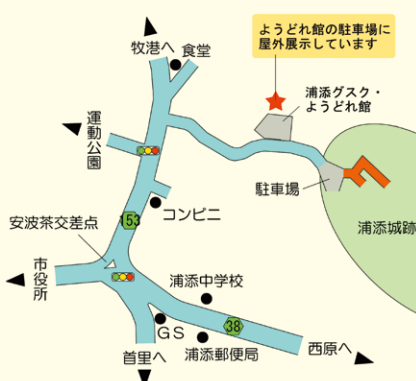
この石材が戦前に浦添の特産品だった証拠が二つあります。一つは、昭和5年に浦添から県外への輸入品目の第8位が「栗石」であったという記録があること。もう一つは平成22年に市教育委員会が行った発掘調査で、大規模な『石切場跡』の遺跡が港川地区の海岸で発見されたことです。

現在、石切場跡の遺構の一部を浦添グスク・ようどれ館の駐車場で屋外展示しています。よく見ると切り出した柱の形や工具の痕まで観察することが出来ます。

ぜひ、歴史や理科の教材として活用していただけたらと思います。



▲石切場跡の遺構展示



問い合わせ 文化課 内線6214・6217



かっこい〜笑

なかむら せな
中村 星夏ちゃん(0歳)屋富祖在



お父さんみたいに上手になりたいな

みやぎ ゆら
宮城 結菜ちゃん(0歳)安波茶在



♪夏のお嬢さん♪

てるや きわ
照屋 希和ちゃん(0歳)経塚在

「てだっ子STUDIO」写真募集

●日頃の子どもの写真を郵送または画像データをメールで毎月月末までに送付してください。

窓口へ直接提出も可。集合写真は不可。

※被写体の子ども(ふりがな)・年齢(0か月、1歳など)・居住地区(安波茶・伊祖など)

一言コメントの記入を忘れずに！

〒901-2501 浦添市安波茶1-1-1

浦添市役所 国際交流課

☎876-1234(内線2613・2614)

E-mail:kokusai@city.urasoe.lg.jp